

# 開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会

# たきざわ市議会だより

平成30年5月15日  
発行責任者：滝沢市議会議長  
編集：広報常任委員会



**「おでんせ会議」開催**

参加しませんか？議会議長報告会、おでんせ会議を開催します。この議会議長報告会「おでんせ会議」と題し、議会の活動を市民の皆さまにお知らせするとともに、広くご意見をいただき、地域の課題等を議会活動に反映させることをめざしています。

● 議会活動について  
● 地域課題について

会場や日時は、左の一覧表のとおりです。自治

**平成30年議会報告会「おでんせ会議」会場**

自治会名	期日	開始時間	会場
上の山	5月23日(水)	19時	上の山団地集会所
鶯飼南	5月24日(木)	19時	鶯飼地区コミュニティセンター
小岩井	5月26日(土)	15時	小岩井地区コミュニティセンター
姥屋敷	5月26日(土)	19時30分	姥屋敷多目的研修センター
滝沢ニュータウン	5月26日(土)	19時	滝沢ニュータウンニューシビックセンター
国分 法誓寺 元村中央 元村東 元村西 元村南 元村北 あすみ野	5月28日(月)	19時	滝沢ふるさと交流館
滝沢パークタウン	5月29日(火)	19時	滝沢パークタウン集会所
南一本木 北一本木	5月30日(水)	19時	一本木地区コミュニティセンター
鶯飼中央 上鶯飼	5月30日(水)	19時	下鶯飼集会所
大釜上 大釜南	6月1日(金)	19時	大釜地区コミュニティセンター
柳沢	6月2日(土)	13時	柳沢地区コミュニティセンター
いずみ巣子ニュータウン	6月2日(土)	19時	いずみ巣子ニュータウン集会所
巣子 南巣子 長根 川前	6月5日(火)	19時	葉の木沢山活動センター
篠木 大沢	6月5日(火)	19時	滝沢市多目的研修センター



## 議会評価結果(28年との比較)

大項目	小項目	評価視点	H28の結果	H29の結果
I 市民参加	①市民からの意見の吸い上げ状況	どの程度市民の意見を吸い上げているか。	3	4
	②市民の議会参加状況	議会活動に、どの程度市民が参加しているか。	3	4
	③意見の活用状況	議会活動に、どの程度市民から寄せられた意見を活用しているか。	3	3
II 課題解決能力	①各委員会の所管事務調査報告の内容	地域課題を解決するために、どの程度市民福祉の向上につながる調査研究ができたか。	3	4
	②市民参加との関連性	市民から寄せられた意見(地域課題)を踏まえた調査研究が、どの程度できたか。	3	3
	③議会独自の視点	市民から寄せられた意見とは別に、議会独自の視点での調査研究が、どの程度できたか。	3	1
III 意思決定能力	①議案審査に資する委員会の内容	審査に際し、どの程度掘り下げた有効な審査ができたか。	3	3
	②市民参加や課題解決との関連性	意思決定(採決)に際し、市民参加や調査研究内容をどの程度踏まえて行ったか。	3	4
	③請願の審査	請願の審査に際し、どの程度掘り下げた有効な審査ができたか。	3	4
IV 透明性	①関連資料の公開	議事録や関連資料等、どの程度タイムリーに見やすく、正確に公開しているか。	2	2
	②政務活動の公開	政務活動の具体的な内容について、どの程度タイムリーに見やすく、正確に公開しているか。	3	3
	③発信媒体	公開するための発信媒体が、複数の手法によりどの程度見る方に配慮しているか。	4	4

**「議会評価」を実施しました**

本議会では、29年の議会活動を振り返り、「議会評価」を実施しました。この議会評価は、26年から実施し今回で4回目となりますが、議会を評価する仕組みは全国でも少なく、滝沢市議会独自の基準で行っています。

「1」早急に改善が必要  
「2」改善が必要な状態  
「3」良好な状態  
「4」十分良好な状態

評価は、昨年と同様の手法で「市民参加」課題解決能力「意思決定」透明性「28年と比較する」と評価が上った項目が5つで、逆に下がった項目が1つありました。

また、評価が「1」になった項目があり、早急な改善を行う必要があります。

結果「4」が6つになり、底上げが行われましたが、「3」は未だに達成できていません。

市民福祉の向上に直結する議会をめざします。

## 議決一覧(3月会議)

### ○全員賛成で議決した議案

議案第3号	平成30年度滝沢市後期高齢者医療特別会計予算	議案第21号	滝沢市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正することについて
議案第5号	平成30年度滝沢市介護保険介護サービス事業特別会計予算	議案第22号	滝沢市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて
議案第6号	平成30年度滝沢市水道事業会計予算	議案第23号	滝沢市指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正することについて
議案第7号	平成30年度滝沢市下水道事業会計予算	議案第24号	滝沢市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部を改正することについて
議案第8号	平成29年度滝沢市一般会計補正予算(第8号)	議案第25号	滝沢市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正することについて
議案第9号	平成29年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	議案第26号	滝沢市牧野管理条例の一部を改正することについて
議案第10号	平成29年度滝沢市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	議案第27号	滝沢市営住宅条例の一部を改正することについて
議案第11号	平成29年度滝沢市介護保険特別会計補正予算(第5号)	議案第28号	滝沢市都市公園条例の一部を改正することについて
議案第12号	平成29年度滝沢市介護保険介護サービス事業特別会計補正予算(第5号)	議案第29号	市道路線の認定及び変更に関し議決を求めることについて
議案第13号	平成29年度滝沢市簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)	議案第30号	平成29年度滝沢市一般会計補正予算(第9号)
議案第14号	平成29年度滝沢市水道事業会計補正予算(第3号)	発議第1号	ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業を守る施策推進を求める意見書
議案第15号	平成29年度滝沢市下水道事業会計補正予算(第4号)	発議第2号	「市長の専決処分事項の指定について」の全部を改正することについて
議案第16号	滝沢市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例を制定することについて		
議案第17号	滝沢市コミュニティセンター設置条例の一部を改正することについて		
議案第18号	滝沢市国民健康保険事業財政調整基金条例の一部を改正することについて		
議案第19号	滝沢市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正することについて		

○人事  
 諮問第1号 人権擁護委員 三上由美子氏 **適任**  
 同意第1号 滝沢市副市長 佐野峯茂氏 **同意**

### ○賛否が分かれた議案

議案番号	議案内容	結果														賛成票数	反対票数					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14							
議案第1号	平成30年度滝沢市一般会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※	18	16	2
議案第2号	平成30年度滝沢市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※	18	16	2
議案第4号	平成30年度滝沢市介護保険特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	※	18	15	3
議案第20号	滝沢市介護保険条例の一部を改正することについて	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	※	18	15	3

## 議案第20号に対する討論

**【反対】桜井博義議員(日本共産党)**

この条例は、3年ごとに介護保険制度の計画を見直し、今後3年間の保険料を新たに設定しようとするものです。ご承知のように介護保険制度は、使っても使わなくても65歳になれば支払いの義務が生じます。わずかな年金は減らされ、他の収入がない方においては大きな負担になります。改正案では、全ての階層で値上げになっており、その割合がどの階層でも同じ比率で上がっています。これでは自ずと年金のない方や収入の低い方にとっては大幅な値上げ率になります。第1段階の収入80万円以下では、保険料の占める割合が4.5%以上となり、収入500万円では2.4%、1000万円では半分の1.2%と収入が多いほど負担率が下がることになります。当局においては最小限の幅に抑えているものと察しますが、これでは高齢者の格差は広がる傾向につながり、一方の生活保護受給者の増加に現れています。したがって、保険料の負担が大きいき第1段階を中心に財政支援を行い軽減を図る必要があると考えます。また、今の介護保険制度の負担割合は、国25%、県12.5%、市12.5%であり、残りの50%を保険料としていることから、利用が増え続けることで保険料に跳ね返ってくる欠点があります。今後、利用者が確実に増えることは避けられないため、国に対しても国の負担割合を引き上げることを強く求め反対討論とします。

### 5~6月議会の活動

5月15日(火)	議会運営委員会	6月15日(金)	各常任委員会
5月15日(火)	全員協議会	6月18日(月)	6月会議 ※
6月7日(木)	議会運営委員会	6月19日(火)	6月会議 ※
6月7日(木)	全員協議会	6月20日(水)	6月会議 ※
6月13日(水)	6月会議 ※	6月22日(金)	6月会議 ※

このほか常任委員会ごとに随時日程を決定し活動します。  
※は、議場で開かれます。それ以外は、それぞれ委員会室等で開かれます。

**傍聴におでんせ!**

3月会議の傍聴者15名

~お知らせ~

- ◎滝沢市議会のホームページで「議会だより」や「議会会議録」をご覧いただけます。
- ◎議場・議会事務局は市役所4階です。
- ◎日程・内容は予定であり、変更する場合がありますのでご了承願います。

### 滝沢市議会ホームページ

QRコードをスマートフォンなどの携帯端末で読み取ると「滝沢市議会」のホームページをご覧いただけます。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェアの登録商標です。



# 会派代表質問

## 《3月会議》

滝沢市議会では、5つの会派が結成されており、日々活動しています。

それらの活動を生かして年に一度、市長施政方針及び教育施政方針の演述に対して各会派の代表がそれぞれ質問します。

今年は3月7日に代表質問を行いましたので内容の概要をお知らせします。



### 住民自治日本一の市と今後の発展は

#### 「満足と幸福感を日本一実感できるまちをめざします」



一新会 遠藤 秀鬼 議員

【問】住民自治日本一の市と今後の発展は

【答】住民自治が住みよい地域を考えると、思いやりと協力の気持ちで地域や仲間と関わることに「満足」と「幸福感」を日本一実感できるまちであると考

【問】人とのつながりの中で幸福感の検証をどのように実施し、市民主体の幸福感を育む取り組みの推進につなげるのか。

【答】自治会や地域づくり懇談会等、地域コミュニティの活動も支援しながら、市民主体の地域づくりの推進のために、今後とも地域づくり支援員や関係各課と連携し、地域とともに幸福感を育む環境づくりに努めます。

【問】健康づくり宣言の目的と目標、また市民に浸透を図っていくための具体策は。

【答】「健康づくり宣言」の目的と目標、また市民に浸透を図っていくための具体策は、

【問】「健康づくり宣言」の目的と目標、また市民に浸透を図っていくための具体策は。

【答】「健康づくり宣言」の目的と目標、また市民に浸透を図っていくための具体策は、

### 市長の政策達成度と自己評価は

#### 住民自治が浸透し市民と歩んだ成果と考えます



滝政会 角掛 邦彦 議員

【問】市長3期での政策達成度と自己評価は。

【答】高齢者世帯を訪問し、マップの作成や活動モデルの実施団体の見直しを

【問】公共施設等総合管理計画の方針は。

【答】施設の類型ごとに必要性や方向性を判断し、32年度までに個別施設計画を策定します。

【問】歳入確保に向けた市税等の方針は。

【答】行政サービスと負担の在り方の観点から、市税を含め受益者負担につ

【問】財政構造改革の検証と今後の方針は。

【答】実績単年度収支で3年間赤字でしたが、黒字化したことは成果の一つ

### 持続性のある財政構造への転換の具体策は

#### 予算編成改革の推進で転換します



新志会 藤原 治 議員

【問】財政見直しにおける「持続性のある財政構造への転換を図る」ことへの具体策は。

【答】持続性のある財政構造への転換を図る「ことへの具体策は、

【問】「ごみ処理の広域化に係る焼却施設や広域化後の最終処分場の議論を加

【問】「ごみ処理の広域化に係る焼却施設や広域化後の最終処分場の議論を加

【問】「ごみ処理の広域化に係る焼却施設や広域化後の最終処分場の議論を加

【問】「ごみ処理の広域化に係る焼却施設や広域化後の最終処分場の議論を加

【問】「ごみ処理の広域化に係る焼却施設や広域化後の最終処分場の議論を加

【問】「ごみ処理の広域化に係る焼却施設や広域化後の最終処分場の議論を加

### ごみ減量化に込める実践行動は

#### 資源循環システムを関係者と一体となって取り組みます



日本共産党 桜井 博義 議員

【問】ごみ有料化で市民に減量を問うかけたが、減

【問】「ごみ有料化で市民に減量を問うかけたが、減

【問】「ごみ有料化で市民に減量を問うかけたが、減

【問】「ごみ有料化で市民に減量を問うかけたが、減

【問】「ごみ有料化で市民に減量を問うかけたが、減

【問】「ごみ有料化で市民に減量を問うかけたが、減

【問】「ごみ有料化で市民に減量を問うかけたが、減

【問】「ごみ有料化で市民に減量を問うかけたが、減

### 予算編成時の繰延べや廃止等の選別基準は

#### 事業の縮小が適当かの判断等を含め選択します



公明党 相原 孝彦 議員

【問】予算編成時の全事業を見直し、繰延べ、廃止

【問】予算編成時の全事業を見直し、繰延べ、廃止

【問】予算編成時の全事業を見直し、繰延べ、廃止

【問】予算編成時の全事業を見直し、繰延べ、廃止

【問】予算編成時の全事業を見直し、繰延べ、廃止

【問】予算編成時の全事業を見直し、繰延べ、廃止

【問】予算編成時の全事業を見直し、繰延べ、廃止

【問】予算編成時の全事業を見直し、繰延べ、廃止





# 平成30年度 当初予算案 審査報告

一般会計192億5500万円・特別会計89億6800万円  
**総額282億2300万円**  
**30年度当初予算案を『可決』**

## ① 質疑・歳入

30年度当初予算案は3月8日、9日、12日、13日、19日の5日間に渡り審査を行いました。  
 審査の結果、一般会計192億5500万円、特別会計89億6800万円、総額282億2300万円の30年度当初予算案を採決し、可決しました。  
 議会では審査に際し事前に協議を行い、議会報告会などで出された意見を参考に着目すべき市の課題を抽出し、その課題の解決に向けた視点を十分に踏まえて審査しました。  
 どのような視点・内容で審査したのか詳しくお知らせします。

**画** 固定資産税に係る新築家屋の推移は、28年度266棟、29年度239棟、30年度は230棟の新築を見込んでいます。  
**画** 軽自動車税の増の要因は、普通自動車からの乗り換え需要の増加等により0.8%の増を見込んでいます。  
**画** 地方消費税交付金の増収の要因は、**答** 税制改革により精算制度の変更があり、地方に多く入るようになったことが要因です。  
**画** IPUイノベーションセンターの現在の利用状況は、**答** 第1と第2のイノベーションセンターを合わせて21室の研究室があります。  
**画** 児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金の増額の要因は、**答** 補助対象となる婦人相談員の手当について、国の補助基準単価が改正され、月額10万6800円から14万9300円に上がったため増額となりました。  
**画** 林業成長産業化総合対策事業費補助金は、この経営体がどのような機械を導入するのか。  
**答** 本市に事業所を置く林業経営体に対する補助で、林業用油圧ショベルのアームの先に取り付け、伐採・抜根・掘削・整地作業が1台で行える機械を導入します。  
**画** 被災地児童生徒就学援助事業補助金の増額内容は、**答** 補助品目の中で新入学児童生徒の学用品費の単価がほぼ倍になったことが増額の要因です。  
**画** 臨時財政対策債の今後の見通しは、**答** 毎年、同程度の起債を続けた場合、32年度から減って行くものと見込まれます。

## 審査の流れ

- ① 質疑 各議員が、議案の賛成・反対の判断を行うときの参考とするために、個別の事業等の疑問点を確認する目的で市に質問します。
- ② 総括的質疑 「①質疑」とは別に、②総括的質疑は政策的な広い視点で市の考えを確認する目的で質問します。
- ③ 討論 各議員が、賛成・反対の意思を表明することです。また、論点をはっきりさせて説明責任を果たし、自分の考えへの賛同者を募る目的で行います。
- ④ 採決 ①～③の質疑・討論を参考に、各議員が最終的な判断を表明し「可決」「否決」を多数決で決めるためにを行います。

## ① 質疑・歳出

**●地域コミュニティ**  
**画** 地域からの補助申請が減少傾向で、懇談会の運営の相談等ソフト的な支援も幅広く行います。  
**画** 地域からの補助申請が減少傾向で、懇談会の運営の相談等ソフト的な支援も幅広く行います。  
**画** 地域からの補助申請が減少傾向で、懇談会の運営の相談等ソフト的な支援も幅広く行います。  
**●教育環境をテーマとした質疑**  
**画** 地域からの補助申請が減少傾向で、懇談会の運営の相談等ソフト的な支援も幅広く行います。  
**画** 地域からの補助申請が減少傾向で、懇談会の運営の相談等ソフト的な支援も幅広く行います。  
**画** 地域からの補助申請が減少傾向で、懇談会の運営の相談等ソフト的な支援も幅広く行います。  
**●ごみの減量化をテーマとした質疑**  
**画** 減量の成果を市民にどう周知していくのか。  
**答** 目標や成果が見えることは大事な要素であり、広報等を通じて周知見込まれています。この仮定で試算すると、当市の場合31年度で1437人の利用児童数となり、現定員の1359人を78名超過します。  
**●保育所をテーマとした質疑**  
**画** 国の動向から保育無料化も検討されますが、必要が増えると思われ、今後の対応は、  
**答** 女性就業率が今後80%と予想されており、その際の保育率は60%と見込まれています。この仮定で試算すると、当市の場合31年度で1437人の利用児童数となり、現定員の1359人を78名超過します。  
**●空き家対策をテーマとした質疑**  
**画** 現状の課題と、解決に向けた30年度の取り組みは、  
**答** 問題となっている空き家の所有者に訪問説明等を行いました。事情が複雑なケースが多いですが、撤去に向けた相談や支援を行います。  
**画** 昨年議会の調査で、計画の早期策定を指摘しましたが、取り組み状況は、  
**答** 空き家家といっても個人の財産であり、できるところから慎重に対応しています。計画については、他市町村の状況も見ながら検討します。  
**画** 公共施設等管理の現状及び将来の見通しは、  
**答** ソフトとハードの現状について調査を行っており、そのトータル評価によって優先順位を付けて、どのような仕組みでなければならないかを検討を進めます。  
**画** 第1次総合計画前期計画の最終年度である30年度の事業推進における市民との連携方針は、  
**答** 地域懇談会において地域別計画の振り返りを30年度に行う必要があり、また、その振り返りと同じ時に現状の分析を行いながら市民とともに連携を進めます。  
**画** 除雪における住民協働をどのように考えているか。  
**答** 現在4つの自治会で協働除雪を実施していますが、どのような仕組みであればやりやすいのかを今後、地域の方々と話し合いながら協働除雪を進めます。  
**画** 伝統文化を推進するにあたり郷土芸能祭りを含めた情報発信は十分か。  
**答** ポスター・チラシ・広報・ホームページ等で情報発信を行っています。また、その振り返りや同様に現状の分析を行いながら市民とともに連携を進めます。  
**画** 国民健康保険について基金を使って保険料を維持するとしているが、子どものいる世帯の平等を軽減する考えは、  
**答** 本市の国保税率については今までの所得が少ないうえに子育て世代に配慮してきていますが、今後とも子育て世代に配慮してきています。

## ② 総括的質疑

**●地域コミュニティ**  
**画** 各地域公民館の修繕要望に十分対応できているのか。  
**答** 要望を整理し、可能なものから対応していきます。このことが、施設の延命化につながると思います。  
**画** 果地域域から請願があり、議会で採択した東部地区の地域コミュニティ施設に対する考えは、  
**答** 現時点で具体的な考えはありませんが、地域とも情報を共有し、一緒に考えていきます。  
**画** 各自治会への支援内容は、  
**答** 自治会連合会を通じての助成や、備品購入に係るコミュニティ助成の申請等を支援しています。  
**画** 地域づくり活動補助事業の課題と30年度予算への反映は、  
**答** 現時点で直接的な関係はなさっていますが、必要に応じて対応していきます。

**●ごみの減量化をテーマとした質疑**  
**画** 減量の成果を市民にどう周知していくのか。  
**答** 目標や成果が見えることは大事な要素であり、広報等を通じて周知見込まれています。この仮定で試算すると、当市の場合31年度で1437人の利用児童数となり、現定員の1359人を78名超過します。  
**●保育所をテーマとした質疑**  
**画** 国の動向から保育無料化も検討されますが、必要が増えると思われ、今後の対応は、  
**答** 女性就業率が今後80%と予想されており、その際の保育率は60%と見込まれています。この仮定で試算すると、当市の場合31年度で1437人の利用児童数となり、現定員の1359人を78名超過します。

**●空き家対策をテーマとした質疑**  
**画** 現状の課題と、解決に向けた30年度の取り組みは、  
**答** 問題となっている空き家の所有者に訪問説明等を行いました。事情が複雑なケースが多いですが、撤去に向けた相談や支援を行います。  
**画** 昨年議会の調査で、計画の早期策定を指摘しましたが、取り組み状況は、  
**答** 空き家家といっても個人の財産であり、できるところから慎重に対応しています。計画については、他市町村の状況も見ながら検討します。

**●公共施設等管理の現状及び将来の見通し**  
**画** 公共施設等管理の現状及び将来の見通しは、  
**答** ソフトとハードの現状について調査を行っており、そのトータル評価によって優先順位を付けて、どのような仕組みでなければならないかを検討を進めます。  
**画** 第1次総合計画前期計画の最終年度である30年度の事業推進における市民との連携方針は、  
**答** 地域懇談会において地域別計画の振り返りを30年度に行う必要があり、また、その振り返りや同様に現状の分析を行いながら市民とともに連携を進めます。

**●除雪における住民協働をどのように考えているか**  
**画** 除雪における住民協働をどのように考えているか。  
**答** 現在4つの自治会で協働除雪を実施していますが、どのような仕組みであればやりやすいのかを今後、地域の方々と話し合いながら協働除雪を進めます。

**●伝統文化を推進するにあたり郷土芸能祭りを含めた情報発信は十分か**  
**画** 伝統文化を推進するにあたり郷土芸能祭りを含めた情報発信は十分か。  
**答** ポスター・チラシ・広報・ホームページ等で情報発信を行っています。また、その振り返りや同様に現状の分析を行いながら市民とともに連携を進めます。

**●国民健康保険について基金を使って保険料を維持するとしているが、子どものいる世帯の平等を軽減する考えは**  
**画** 国民健康保険について基金を使って保険料を維持するとしているが、子どものいる世帯の平等を軽減する考えは、  
**答** 本市の国保税率については今までの所得が少ないうえに子育て世代に配慮してきていますが、今後とも子育て世代に配慮してきています。

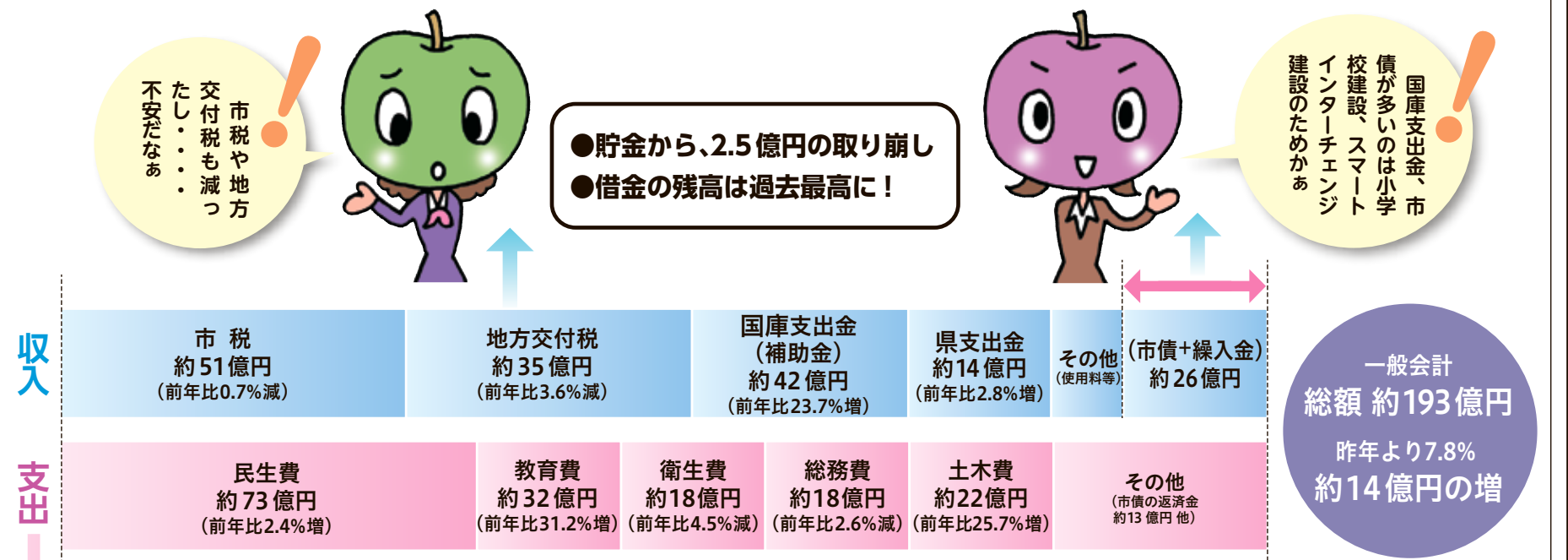


# 30年度 滝沢市の 台所事情

30年度の予算は、歳入を見てみると「貯金(基金)の取り崩し」「新たな借り入れ(借金)」などにより、前年度と同様に厳しい財政状況が継続しています。

そして、歳出でも「民生費」が児童福祉法及び障がい者総合支援法などの規定により扶助費が増え、前年度より2.4%、額で1億7523万円伸びており、全体の総予算の38.1%を占めています。

また、滝沢中央小学校、滝沢中央スマートインターチェンジの整備費が盛り込まれており、「教育費」「土木費」が伸びています。将来への投資が色濃い内訳となっています。

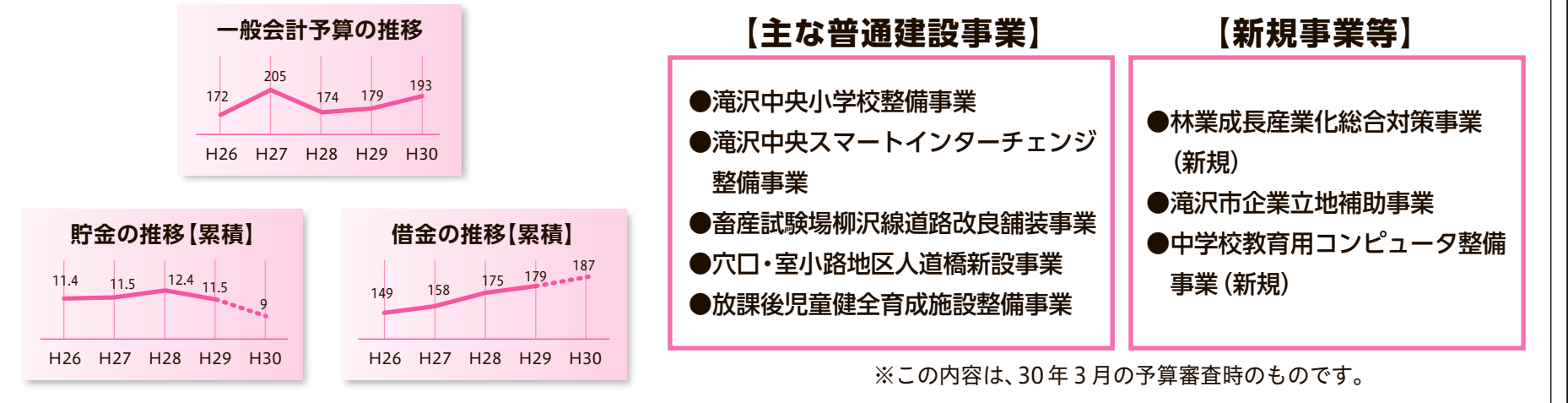


**滝沢中央小学校の建設本格化**  
**滝沢中央スマートインター整備工事の継続**

事業はどんなのがあるの？ いろいろな取り組んでいるんだ

5年間を比べてみるとこうなるのか

厳しい財政



事業は2000万円の予算で、今後33年度までの事業期間に総額1億4000万円の事業費が予定されています。

この事業は、小岩井地区はもとより、本市としても公共交通機関の利用促進と周辺地域の活性化が図られ、さらには小岩井農場との連携を行うことで観光面としても集客に大いに期待するところと見られます。

なお、現総合計画では「幸福感を育む環境づくり」をキーワードにしています。今回の予算審査において「健康づくり宣言」に伴う地域づくりの根幹を議論しました。

30年度以降、地域づくりの推進体制のさらなる強化が必要ですが、各部長をはじめ全ての職員が地域づくりを意識して取り組むことを望みます。

以上、今日大変厳しい社会情勢の中での予算編成であったと評価するとともに、滝沢市一般会計予算に賛成します。

**桜井博義議員**  
**日本共産党**

国民健康保険の加入者は、農家や自営業者が減り続け、無職高齢者が増加し財政が厳しくなる中、医療費は増え続けて

います。30年度から始まる広域化によって問題が解決するかの言動もありますが、そもそも私たちはこの県単位化に反対を示してきました。

なぜなら、それによって加入者の保険料が払いやすくなると思えず、高すぎる保険料がさらなる負担を招くからです。被保険者にとっては県単位を進めることで、これまで顔の見える市町村で事業を進めていたものがワンクッションはさみ、県が主体的になって医療費適正化計画など医療費削減の仕組みづくりが推し進められることが何われません。

二点目は、さらなる徴収強化につながることを考えられます。収納率に関係なく県に納付金を納めなければなりません。したがって徴収は強化され、収納率が下がった場合でも決められた額を納付することになります。

三点目は、今の基金を取り崩しながら収支のバランスを保つことになっていますが、この間の財政支援によって基金を確保してきました。30年度以降も引き続き財政支援を行うことから基金はこれまでより、さらに

と考えることから反対討論とします。

**桜井博義議員**  
**日本共産党**

本市においても軽度の認定者の割合が増えており、早期に利用することで要介護の重症化を防いでいるのが実態です。

今回の見直しによって保険料は全ての段階で値上げとなり、前年度予算よりも7370万円、率にして8.5%の増一方の給付の伸びはわずか3.3%に留まり、第7期計画の初年度として積立金も盛り込んでおり値上げの要素は考えられません。

29年度から要支援認定者の訪問介護と通所介護が予防給付から外され総合事業に移行となり、30年度より完全移行になります。

要支援1・2の方々のデイサービスと生活支援サービスを総合事業に移し介護保険から外すことになっていますが、これは保険料だけ徴収しなからサービスは受けられないという、まさに保険あつて介護なしを広げるもので容認できかねると考えます。

よって、30年度介護保険特別会計予算の反対討論とします。

○請願

件名	請願の趣旨	請願者	結果
1 ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業を守る施策推進を求める請願	政府が進めているライドシェアの導入に反対し、安全・安心な地域公共交通としてのタクシー事業を守る諸施策を推進するよう、日本国政府に対して意見書を提出されますよう請願いたします。	生活交通をつくるいわての会 共同代表 小野 幸宣 石橋 乙秀 山中 俊介 八幡 博文 野中 靖志 石川 昌平 佐藤 浩之	採択

## 平成29年度滝沢市議会政務活動費報告 (単位:円)

No	支払先 氏名	前期支払		後期支払 金額	支払合計	精算金額	返納金	執行率	支出内訳(報告書)														
		金額	変更						調査研究費	研修費	要請陳情等活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費	その他	計					
1	一新会代表 遠藤秀鬼	540,000	30,000	630,000	1,200,000	786,276	413,724	65.52%	777,252									9,024					786,276
2	滝政会代表 角掛邦彦	270,000	60,000	450,000	780,000	739,966	40,034	94.87%	273,162	448,162	3,630							15,012					739,966
3	公明党代表 相原孝彦	180,000	0	180,000	360,000	333,314	26,686	92.59%	138,792	80,348												114,174	333,314
4	新志会代表 山谷 仁	180,000	0	180,000	360,000	349,456	10,544	97.07%	268,780	50,960												5,540	349,456
5	日本共産党代表 桜井博義	180,000	0	180,000	360,000	358,760	1,240	99.66%	101,180	217,380								40,200					358,760
6	齋藤 明	90,000	△30,000	0	60,000	35,240	24,760	58.73%	35,240														35,240
7	武田 哲	90,000	△30,000	0	60,000	0	60,000	0.00%															0
8	日向 清一	90,000	△30,000	0	60,000	0	60,000	0.00%															0
9	佐藤 澄子	90,000	0	90,000	180,000	162,872	17,128	90.48%	66,796			10,000						86,076					162,872
計		1,710,000	0	1,710,000	3,420,000	2,765,884	654,116	80.87%	1,661,202	796,850	3,630	10,000	0	202,586	86,076	0	5,540	2,765,884					

※齋藤明議員は、7月24日付けで一新会加入のため、8月、9月分返納の上、8月、9月及び後期分を一新会へ交付しました。  
 ※武田哲議員は、7月27日付けで滝政会加入のため、8月、9月分返納の上、8月、9月及び後期分を滝政会へ交付しました。  
 ※日向清一議員は、7月27日付けで滝政会加入のため、8月、9月分返納の上、8月、9月及び後期分を滝政会へ交付しました。

**③ 討論(抜粋)**

**仲田孝行議員**  
**日本共産党**

本市の30年度一般会計予算は、歳入の面では地方消費税の都市間配分見直し分と財政調整基金からの繰入金各1億円の増になっていますが、国の施策によって地方交付税が1億3000万円減額されています。歳出については、本市の主幹産業である農林水産業費が3200万円減、市民の安全・安心を担保する公共施設の維持補修費は対前年28%の減等、第1次滝沢市総合計画の最終年度として、計画の達成が懸念される予算編成となっています。

経常収支比率が92.4%で、市独自の施策を打ち出していくのは理解しますが、その原因が市当局の行財政運営に起因しているという点は指摘しておかなければなりません。市当局は、30年度予算で「健康づくりは幸せづくり」のスローガンのもと「健康づくり宣言」を行い「幸せを感得できるまちづくり」を進めるとしていますが、健康であることは幸せであること、必要十分条件ではありません。

30年度は第1次滝沢市総合計画前期基本計画の最終年度、つまり「仕上げの年度」であります。27年度から取り組んでいる財政構造改革も職員一体となって一歩、着実に進んでいるものと推察します。

その中で30年度滝沢市一般会計予算は、前年度対比7.8%増の192億5500万円と過去最大規模となっています。特に事業として復活したJRR小岩井駅活性化

**角掛邦彦議員**  
**滝政会**

30年度は第1次滝沢市総合計画前期基本計画の最終年度、つまり「仕上げの年度」であります。27年度から取り組んでいる財政構造改革も職員一体となって一歩、着実に進んでいるものと推察します。

以上を理由により、30年度滝沢市一般会計予算に反対することを表明して討論とします。